

令和8年度東海村障がい者総合支援協議会 第1回安心部会 会議録

開催日時	令和8年5月26日（火）午後1時45分から2時55分まで
場 所	東海村総合福祉センター「絆」多目的ホール
出席者	●委員 有賀会長，坂下部会長，富田副部会長，土屋委員，宇都宮委員，照沼委員 *順不同 ○事務局 齋藤課長補佐，横山係長，小松主任精神保健福祉士，前田保健師， 片山社会福祉士
欠席者	有阪副会長，恩智委員
次第	1 開会 2 部会長あいさつ 3 議事 （1）今年度の協議内容について （2）その他 4 今後の予定 5 閉会
議 事	（行頭記号：●⇒委員，○⇒事務局） （1）今年度の協議内容について ○令和7年度の安心部会では，障がい者の避難に係る施策について改善するための提言をまとめることを目標に協議を進めた。 ○令和8年度の安心部会では，昨年度協議した素案について検討を進めていく予定であったが，国や県からの通知を受け，現在，村で避難行動要支援者制度の対象者の選定基準や登録方法の見直しを行っているため，令和8年度の安心部会では，その他の避難施策について協議を進めていきたい。 ○令和8年6月28日に実施する，東海村風水害対応訓練に障がい者やその家族に参加してもらい，参加者に対しアンケート調査を実施し，その結果を踏まえ避難行動や避難所における支援体制の課題整理を行い，避難所運営マニュアルの改訂に反映すべき事項をまとめていきたい。 ●東海村風水害対応訓練の参加者は決定しているか？ ○これから広報で周知し，親の会や居場所づくり事業の参加者にも参加を募る予定である。 ●東海村風水害対応訓練の内容は毎年変更するのか？ ○昨年度と内容の変更はないが，実施場所は2ヶ所になる予定である。 ●避難行動要支援者制度の見直しが終了する目安は？ ●9月に実施する第2回安心部会に担当課職員による説明を求めることは可能か？ ○終了する目安が未定のため，第2回安心部会での対応は難しいのではないかと考える。

	●昨年と今年の東海村風水害対応訓練では、障がい者に対する対応がどのように変化しているのか？対応の変化や工夫についての説明があれば、参加させてみようという気持ちになるが、昨年同様に「どなたでも参加してください」という内容では参加させる気にはならない。 ●以前参加された家族からは、「大変な思いをした」「怒られた」「2度と参加したくない」という声が聞かれている。 ○訓練内容の変更はないが、障がい者や家族に避難訓練に参加してもらい、困りごとや課題について確認する機会にしたいと考えている。 ●これまでの訓練では、参加者に避難訓練における困りごとを確認することはなかったのか？ ○障がい者や配慮が必要な方に限定したアンケート調査は行っていない。 ●石神地区、白方地区の全障がい者が避難するのか？地区ごとに実施した方がよいのではないか？ ○障がい者全員ではなく、村内に居住し避難訓練を希望する障がい者である。 ●避難訓練に参加してくれる方は、日頃から避難について考えられている人であり、そうではない方への対応を考えなければならない。 ●避難訓練の際につらいことばかりあると、本番の時に避難しなくなってしまう。 ●障がい者の対応に慣れていない職員は初心者マークをつけて対応することで互いに安心に繋がると考える。一方で、精神障がい者は、初心者マークを職員がつけていることで、不安になることも考えられる。 ●知的障がいの子は様々なことでパニックになることがあり、他者に対して迷惑や危害を加えてしまう可能性があり、心配である。 ●障がい者にとって、避難訓練の目的は「ここに来ればいいんだ」ということがわかる程度で良いのではないかと思う。 ●アンケートに防災無線についての項目を含め、評価できると良いと考える。 ●風水害対応訓練や広域避難訓練は毎年実施するのか？ ○毎年ではない。 ○過去の広域避難訓練では、各コミュニティセンターに集合してもらい、バスで村外に避難する訓練を行った。 ●2つの地区のみ実施するアンケート調査では対象が少なく、安心部会で検討し意見書を提出するのは難しいと考える。 ●まずは、参加できることやまた来たいと思えるような取り組みが優先されると考える。 ●各学校の特別支援クラスには、避難訓練の情報が届いていないと感じることがあり、今後は学校と連携し、情報が届くような体制づくりが必要である。 ●避難行動要支援者の登録者の地区ごとの人数は？ ○村内20名が登録しており、各地区では数名であることが予想される。 ●地域住民は、地域における障がい者の所在が把握出来ていないと感じる。避難行動要支援者制度に登録している方は、障がいについてオープンにしている印象がある。
--	---

	●避難訓練は雨天決行か？ ○雨天中止の案内はないため、実施すると思われる。 ○親の会の皆様に避難訓練で嫌だったことや配慮が足りないことについて意見を確認したい。 ○避難所の雰囲気を知ることがを目的に避難訓練に参加するのはどうか？ ●親の会や障がい者向けに説明するブースや時間を設けることで障がい者の安心や参加の意欲に繋がると考える。 ●避難所の環境について理解できていれば、避難訓練に参加する障がい者の心理的な負担軽減につながる。 ●アンケートに防災無線や避難所の雰囲気等の質問項目を設けるのはどうか？ ●避難訓練に係る内容だけでなく、日常生活における困りごとについても設問を設けることで答えやすいアンケートになると考える。 ●避難訓練の案内資料内のマイタイムラインとは何か？マイタイムラインについて住民への周知が出来ていないと感じる。 ●事前に説明を行った上でマイタイムラインを作成してもらい、避難訓練当日の予定と照らし合わせ、振り返りを行うことで理解促進に繋がるのではないかな。 ●案内資料は視覚的にわかりやすい方が良いと思う。 ●高齢者や障がい者はQRコードを読み取れないことが考えられる。 ●第2回安心部会では、仮設トイレや段ボールベットについて担当課職員から説明してもらい、避難について我々が理解を深めるとともに、担当課職員にも障がいについての理解を深めてもらうことができるような意見交換の場としたい。 ●避難訓練に限らず継続的にアンケートを実施する必要があると考える。 施設や事業所にアンケートを行うことで、今後の検討すべき課題が把握できると考える。 ○避難訓練の参加を通じて、避難所の雰囲気を知ってもらい、そこで感じた課題をアンケートに記載してもらいたい。 ●国が検討している内容として、今後、福祉避難所の設置が無くなり、健常者も障がい者も同じ避難所に避難できるようにしていくことや安心サポーターを決定した上で避難行動要支援者制度に登録することがあげられている。 ●避難所対応を行う職員に対して、障がいへの理解についての取組みを行うのはどうか？ ●アンケートの回答者は？ ○障がい者やその家族に回答してもらう。 ●アンケートの項目を選択式や答えやすい内容にした方がよい。 ○アンケート案を作成し、委員の皆様に内容について確認してもらった後に決定をしたいと考える。 ○親の会の皆様から、これまで参加した避難訓練について、親や障がい者の意見をもらいたいと考えるが、協力してもらえるか。 ●親の会で協力できる。
--	--

	○令和8年度東海村風水害対応訓練は、坂下部会長や親の会の皆様に訓練の様子を見学してもらい、課題についてまとめてもらう。 ○防災無線や避難訓練の周知方法を含めたアンケートを実施し、避難訓練に参加しやすくするための方法を検討していきたい。
そ の 他	○令和8年9月24日（木）午後1時30分から第2回安心部会を総合福祉センター「絆」多目的ホールにて開催予定。